

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800054	事業の開始年月日	2007. 11. 01	
		指定年月日	2007. 11. 01	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 横浜茅ヶ崎東2			
所在地	( 224-0033 ) 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東5-4-4			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	2010. 12. 21	評価結果 市町村受理日	平成23年4月5日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎月のレクリエーションの充実と利用者様が培ってきた経験を活かしていただけるような支援を目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和の会（一日を通して華道・茶道を楽しんで頂いている）</li> <li>・家庭菜園（耕す所から収穫まで利用者様と一緒にやっている）</li> <li>・季節にあった行事の開催</li> </ul>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年1月21日	評価機関 評価決定日	平成23年3月2日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>&lt;事業所の優れている点&gt;                  ◇いままでの暮らしかたを続けられるケアサービスの実施                  ・1人ひとりのこれまでの生活体験やリズムを大切にしている。食事を食べ始める時間は利用者個々のペースに合わせている。掃除や調理もこれまでやってきた家事はできるだけ続けてもらうよう職員が声かけや支援をし、エプロン姿でキッチンで働いたり、予定メニューを書き出す役割もお願いしている。                  ◇職員参加による目標設定と実践                  ・全職員が参画して今年度の目標「コミュニケーションを多くする」を設定し、利用者への問いかけを意識して増やし、こころに寄り添うケアの実践に取り組んでいる。また、管理者は職員との話しやすい雰囲気作りに努めている。                  &lt;事業所が工夫している点&gt;                  ◇手書き・手作りの温かみ                  ・居室や風呂場入口ののれん、大型手作りカレンダー、毎月家族に送る「一言通信」など手書き・手作りのものが多く、家庭らしい温かみが共有スペースになっている。浴室入口には「美白・若返り・いい湯だな」のユーモラスな效能書きがあり、入浴を誘っている。                  ◇いつでも誰でもお茶コーナー                  ・お湯ポット、茶器、9種の茶葉が用意されたお茶コーナーが設置され、利用者がいつでも好きなものを自分で選んで飲めるようにしている。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜茅ヶ崎東 2
ユニット名	1U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員間で話し合い理念の設定を行った。各フロア、目に付く所に理念を掲示し意識付けを行っている。	・開所時に管理者と職員が4項目の理念を作成し、月1回の職員会議で話し合うほか玄関などに掲示して日々確認している。 ・年度目標「コミュニケーションを多くする」を全職員で作成し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事に参加したり、行事へのお誘いを行っている。散歩の時間にお声を掛けて頂いたり、野菜等を頂いたり自治会の一員として交流している。	・自治会に加入し夕涼みや芋掘り行事に参加している。 ・ホームの行事に自治会のテントを拝借したり、近隣からの梨の差し入れ、舞踊ボランティアの訪問など地域交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事へお誘いし、入居者様や施設内の様子を見て頂いている。また地域の中学校の職場研修の受け入れを行い、グループホームとはどのような所なのかを経験して頂いている。こども110番の家にも加入している。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、活動報告をするなかで、アイデアやご意見・助言を頂いたり地域活動の報告やお誘いを受けている。	・家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員が参加し隔月に開催している。 ・事業報告や地域との夜間想定避難訓練、中学生の職業体験実施などの意見交換をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会にて自治会、地域ケアプラザ・民生委員等と連携を取っている。グループホーム連絡会への加入を行っている。行方不明に備えて区のSOSネットワークに加入している。また子供110番の家に協力している。	・新築地域ケアプラザとは運営推進会議を通して連携体制を築き、都筑区担当課には事業所の現状を知ってもらうために運営推進会議議事録を送っている。 ・認知症高齢者徘徊ネットワーク登録や、小学校PTAの依頼で「子ども110番の家」として協力している。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内に「安全対策委員会」を設置している。施設内では月に一度「身体拘束廃止委員会」を開催し、情報や知識の向上・共有を行っている。玄関は防犯上、又御家族様の要望から施錠している。利用者様の希望により随時開放するようにしている。	・「身体拘束ゼロ推進！」をスローガンに5項目の禁止行為方針を掲示して実践している。 ・社内の安全対策委員会での検討事項を事業所の身体拘束廃止委員会で職員が共有し、玄関施錠などの現場対応を話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を開催。また、「身体拘束廃止委員会」を通して虐待を考える機会を作っている。入浴時等に外傷などの有無を確認し、発見を認めた場合は原因を明らかにし、ホーム全体で情報を共有している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会社内にて研修制度があり、希望により随時受けることができる。また、外部の研修を受け職員は自己啓発している。研修後は会議等にて情報を共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約前に契約書のサンプルを送付し理解を頂いてから契約を行っている。契約時、口頭で再度説明し随時質問を受け付けながらより理解を得ていただけるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様には個々に意見を頂き反映できるように個人対応している。隔月に家族会を開催しご意見・ご要望を頂いている。またメールアドレスの開示や意見箱の設置を行い随時ご意見を頂けるようにしている。また面会時のお話から出るご意見を大切にしている。	・家族会を隔月に実施し、年1回アンケートで意見要望を聞いている。面会時に聞いた内容は申し送りノートに記載し、職員会議で話し合っている。 ・家族からの意見・要望は、ご意見箱のほかにメールアドレスも公開して、聴取に努めている。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議やフロア会議にて職員の意見や要望を出し合いよりよい運営が出来る様にしている。また、その都度ヒアリングを行う等している。	・管理者は日々のフロア会議、毎月の全体会議、年2回の個別面談で職員から業務の提案や意見を聴きとっている。 ・休憩時間のとり方など職員からの意見を取り上げ、業務の改善に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の希望を反映できるようシフトを考慮している。また年2回の査定票実施している。業務中のストレス軽減を図るため休憩時間等の改善に向け進んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内に研修機関があり、職階別・自己啓発として研修を行っている。希望により事業所に講師を招き研修を行うことある。外部の研修についてもファイルを作り自由に閲覧出来る様にしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会に加入し意見交換の場に参加している。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事実調査時に御本人様と面談し、過去の生活歴や今後のご要望等を伺い、不安や心配事を軽減出来る様に努めている。安心して生活していただけるよう信頼関係を築けるよう努めている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や事実調査時、その都度困っている点や不安点、要望等をお伺いするなどコミュニケーションをとり問題点の解決に取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事実調査時にグループホームで受けられるサービスを説明し、提供できないサービスを望まれる場合には他の介護サービスの情報提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の調理、片付け、洗濯物干しや買い物等を一緒に行う中で、人生の先輩として尊厳を大切にしながら色々な物事を教えていただいている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子や出来事等を定期的に書面や面会時等でお伝えしている。利用者様・御家族様のご要望により電話にてお話をし頂き安心のある生活支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所に住まれていた方やご友人等がお見えになったり、お菓子・果物等を送ってくださったりとしている。お礼の御電話やお手紙をお送りする等のお勧めをしている。	・友人、知人の来訪や贈り物には御礼の電話や手紙を出す手助けをしている。親戚と絵手紙交換をしている人もある。 ・近くの喫茶店やドーナツ店など馴染みの店ができ、買い物を楽しむ利用者もいる。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の家事等、利用者様同士協力されながら行っています。お互いの身体を気遣われている姿もみられます。利用者様同士の性格や心の動きを把握しトラブルなく関わりを持てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去時には転居先に「介護連絡表」を提供している。また、口頭での情報提供も行っている。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	「一人ひとりの自由と意思の尊重」を理念にし心掛けている。言葉にならない利用者様には表情や雰囲気から意向を汲み取り支援をしている。個別対応も視野に支援している。	・理念に「1人ひとりの自由と意思の尊重」を掲げて、職員に利用者の思いを抑制する言葉かけを禁じ、利用者の言葉を傾聴して希望や意向の把握に努めている。 ・そわそわするなどの行動やしぐさからも気持ちを読み取って対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や現在に至る過程を伺い把握に努めている。入居後もご家族様との会話を大切にに対応している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の健康状態や変化は申し送り（ノートや口頭にて）で共有し把握している。「その人らしい生活の維持」を理念にその方の生活のペースを尊重できるよう心掛けている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回カンファ日进行している。 (状況により随時カンファは開催している) 介護計画作成過程からモニタリングまでの一連の流れを必要な関係者と話し合い、共有しながら進めている。	・介護計画は、カンファレンスを毎月行い、利用者の状況に沿って3か月または6ヶ月ごとに見直し、状況に変化があった場合はその都度見直している。 ・カンファレンスには居室担当者以外の介護職員も参画し、また、家族の意向も反映して作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個人記録に特変事項は記録し共有している。ケアプランと連動させ個人記録にナンバリングを行いケアプランにそったケアが出来ているか確認し見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズにより、ホーム内だけでなく地域資源を活用している。また訪問看護やリハビリマッサージ等の活用も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会・生活支援センター・ボランティアセンター等の関わりを持ち生活力が上げられるように支援している。消防署協力の元、避難訓練等を行い地域の一員として生活できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医として内科・歯科の月2回の往診を行っている。要望に応じ、専門医の往診受け入れも行っている。また医療機関の案内等も必要に応じて行っている。	・家族の合意を得て、現在は全員が協力医をかかりつけ医としている。 ・月2回内科、歯科医の往診があり、希望があれば皮膚科の往診も受けられる。 ・通院は家族の付き添いを基本としているが、緊急時などは職員が対応している。	



みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回医療連携看護師が来所時には情報提供し協働している。必要に応じて医療連携看護師からかかりつけ医へ報告し連携を取り利用者様を支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	「介護連絡票」の提供を行っている。入院中は病院関係者との連絡を取ったり、見舞ったりし、退院後の受け入れに向け利用者様の状態を把握するようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「看取り介護」「終末期支援」について当ホームでの対象者はまだいないが、ご家族様への説明や協力の部分でも情報提供できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化指針があり契約時に説明して同意を得ている。</li> <li>・医師が継続入所が困難と判断した場合を除き受入れ可能としているが、看取り事例はまだない。</li> <li>・看取りマニュアルも作成済みである。</li> </ul>	今後の看取りに備え、職員や家族の心のケアを含む研修を実施し、さらなる充実した看取り体制への取り組みが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し掲示している。消防署による心肺蘇生法等の応急手当の研修を行っている。主治医とも24時間体制にて随時指示を仰ぐ事も可能。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施している。(夜間想定避難訓練も実施) 今後、地域の方(近隣住民)を含めた避難訓練を実施する事が一つの課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがあり、年2回夜間想定を含む避難訓練を行っている。</li> <li>・玄関内ベンチの収納箱に水、食料、おむつなどの非常用備蓄をしている。</li> <li>・地域防災協力体制について地元関係者と話し合っている。</li> </ul>	近隣住民を含めた避難訓練の実施の実現が期待されます。

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけや言葉遣いなど利用者様に対してスピーチロックになっていないか、プライバシーを傷つけていないか等職員会議で話し合いをおこなっている。また利用者様に対する接遇の研修を行っている。	・事務所に利用者へのタブー例「ちょっと待って！」などの具体例を掲示し、日々利用者の人権を尊重したケアに努めている。 ・プライバシーに配慮した言葉かけや対応の大切さを接遇マナー研修で学び、職員会議でその内容を話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメント・モニタリング等で利用者様の意見や要望をお聞きしている。選択肢のある関わりが出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活での規則はなく、意思決定は一人ひとりの利用者様であると理解し支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの好みの服装が不安なく出来る様にタンスの整理や声かけ等の支援をしている。訪問理容を利用したり、日々の身だしなみには気を配るようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事や準備、片付けは利用者様と一緒にいき、難しい部分はサポートするよう支援している。会社に給食部がある為日常の食事はつくっていないが、毎月1回の食事作りの日を設け希望の料理を切る所から味付けまで一緒に行っている。	・毎月1回食事作りの日を設け、利用者の希望の多いカレーなどを、職員が支援しながら利用者と一緒に包丁を使っての調理から配膳までを行っている。 ・職員は利用者と一緒に食事し、楽しい話題の提供に心掛けている。利用者には準備や片付けなどができる範囲で手伝ってもらっている。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるメニュー作りをおこなっている。食事量・水分量等摂取量の把握に努めている。Dr.の指示を仰ぎながら食事量のコントロールを行ったり、食事形態もその方に合ったものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医・歯科衛生士による指導の下、毎食後磨き残しのないよう必要に応じて介入するなどして支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、声かけや誘導するなどしてトイレ内で排泄出来るよう支援している。	・利用者の排泄パターンやしぐさでさりげなく声をかけ、失敗した時は気付かれないように誘導している。 ・出来る限りパットなどに頼らず、声かけで自立を支援した結果改善した利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便間隔の把握や飲食物の工夫をしたり、運動を促す等散歩や体操を行い、出来るだけ自然に排便できるよう支援している。中にはDr.指示により下剤等の処方をされている方もいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の意思を尊重しつつ均等に入浴できるよう入浴日を決めている。あくまでも目安であり要望により変更することもあり、利用者様のペースに合わせた支援をしている。	・利用者の希望を尊重し、週2日から6日入浴している。 ・浴室ドアに美白・若返りと貼り紙をしたり、数種類の入浴剤を用意して選んでもらうなど、工夫して誘っている。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は決まっていない為、それぞれのリズムにて自由に就寝されている。日中、本人の意思を尊重し休息等取れるようにしている。夜間は安全確認の為巡視を行い安心して休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・薬剤師と連携し指導をして頂きながら服薬マニュアルにそった服薬支援を行っている。各自が服用している薬の説明はファイルしてあり、いつでも確認できる状態にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・食事準備・片付け等その方に合った手伝い等をして頂いている。菜園の手入れや手芸など培ってきた経験を生かせるように働きかけている。嗜好品として煙草はDr.との相談により本数を決め喫煙して頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望を聞き取り外出レクに繋げている。週に1回外出の日を設け散歩だけでなく、お店等に出かけられるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日は近くの川や事業所周辺を30分位散歩し、週1回は外出の日を設定して、利用者の希望に応じてスーパーなどに出かけ、買い物を楽しんでいる。</li> <li>・四季折々に花見などにバスで出かけ、季節の移り変わりを楽しんでもらっている。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎週来てくださる移動パン屋や自動販売機にてご自分で好きなものを買って頂いている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様・ご本人様の希望により電話を掛けられるよう支援している。予めご家族様と時間帯や言葉の統一を図るなどして対応している事もある。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や壁には季節感のある飾りつけやイベント時の写真を貼り楽しまれている。和の会にて毎月四季折々のお花を活け、居室に飾っていただき季節を感じていただいている。	・リビングは採光が豊かで明るく、換気・温室度管理も行き届き、快適な生活環境を維持している。 ・玄関には季節の花を用いた利用者の活け花が飾られ、壁には行事の写真を貼り、台所には自由に飲むことができる「お茶コーナー」を設けて、アットホームな雰囲気作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分にソファを置いたり玄関に長椅子、ベランダや庭には椅子とうを設置し自由に利用できるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとり使い慣れた馴染みのものや机、椅子などを持ってきていただき居室に置きご本人様が居心地よく過ごせるようにしている。	・ベッド・タンス・クローゼットなどは備え付けで、馴染みのふとん、ドレッサーや仏壇などを持ち込んでいる。 ・窓は広く明るい。利用者の希望にそってベッドや家具は配置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リスク・動線を考慮し安全で自立した生活が送れるよう工夫している。（トイレ表示やバリアフリー・角の突起部分のカバー・お湯の温度設定等）		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜茅ヶ崎東 2
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・スタッフルーム・フロア要所に理念掲示し、必要に応じ 定期職員会議で確認作業行い、さらに必要であれば文言の検討・変更等も視野に入れ 話す場を設けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への参加等から地域情報収集し、出来る限り参加を心掛けている。 またボランティア希望の発信・受け入れ等も行い 納涼祭・防災訓練等の行事への参加呼びかけも積極的に行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当施設行事や町内会行事等の参加交流により、実際に見て頂き、感じて頂く機会を設け、そこからの質問や疑問あればお答えする様努め ボランティアの受け入れ等で理解の場を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の場で必ず御家族様・地域関係者からの発言の場を設け、必要に応じ職員会議の議題に上げたり、情報を共有出来る様努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を軸に市関係者・地域包括担当者等との事前事後連絡等行い 必要な情報の提供・収集を心掛けている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践                  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全対策委員会からの情報・指導等を受け日々確認し、毎月必ず「身体拘束廃止委員会」を開き全職員で理解・周知している。玄関は防犯上の理由、又それに伴う御家族様からの強い要望もあり基本施錠しているが利用者様の要望によりいつでも開放する様指導実行している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底                  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>安全対策委員会や身体拘束廃止委員会を通して「虐待」を考える機会・理解する場・情報を共有する場を持ち各自周知・確認出来る機会を設けている。日々の中で職員同士の声掛け・確認作業等も指導している。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用                  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>色々な勉強会の情報掲示を行い、参加希望者等にはシフト調整等も行う。参加後は必ず資料・情報の周知・共有出来る場を設け、資料・研修報告書等のファイリングも徹底を心掛けている。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得                  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>情報ファイル等閲覧出来る状態にあり、契約後・解約前の御家族の不安や疑問等の対応や上司・会社への窓口は常に開放・公開している。</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映                  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議と別個に家族会の場を設け交流の機会を増やし、普段の何気ない会話の中からの情報収集も心掛けている。また会社や上部に対しても意見箱の設置や代表メールアドレス公開等で窓口を設けている。</p>		



みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議や臨時会議 必要に応じ個別ヒアリング等を行い 双方の意見・情報確認出来る場を設けている。意見箱・代表メールアドレスも全職員が使用出来る状態も出来ている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己査定票の作成、勤務状況の報告等から 管理者や職員の情報を事業部に周知出来る様な体制があり、更に現場・実情の把握・代表までの報告が出来る様施設課の設置 バイザー等が中間作業を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡会の参加等から 会社掲示以外の研修会等の情報収集・掲示を心掛け 必要に応じ 各職員のシフト調整等も行い 機会の確保・実行に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の活用や市主催の交換研修会等に参加。 その後の研修報告書のファイリング等個々の得た情報の共有化も図っている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前の情報等 各職員が共有出来る状況があり、また各職員が知り得た情報や状態等 すぐ対応出来る様 臨時カンファリングの開催や 御家族様・御利用者様とのコミュニケーションが取り易くなる環境作りや指導に努めている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や実調時、契約時に不安点等をお伺いするなどしてコミュニケーションを積極的にとり話やすい環境を作るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム内にて受けられるサービスの説明を行い、提供できないサービスを望まれる場合には他のサービス等の情報提供を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の会話等コミュニケーションを取る事に重点を置き、本人の意思尊重し 出来る・出来ないの判断を職員が一方的に決め付けてしまわない様声掛けの工夫や共同作業の実行等行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様に対しての勉強会を開催したり、諸々の対応を御家族様にして頂ける様なお誘い、行事の開催等を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様との話し合いや御協力の中から継続を図り 施設来訪においては快い受け入れを心掛けている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	必要に応じ職員が仲介し利用者様方による共同作業の場を設けたり、あえて職員が仲介しない場面等も実行している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	追尾・連絡相談の継続は行っている。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	傾聴する事の重要性・必要性を各職員に伝える機会を作り、そこからの情報収集・臨時カンファレンス等につなげ アセスメント・ケアプランに反映させ 職員への周知・徹底・実行を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各個人の入居前情報等は個人ファイルにし職員閲覧可能な状態 また経過等に関しても 個人申し送り・生活記録等から状況把握出来る環境を整えている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各時間帯での職員間の申し送りの徹底、近況等解り易くする為の個人申し送りノートを活用。 また 「いつも」を知り「気付き」を得る事の指導も行う。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>関係職員によるモニタリング 居室担当中心でのアセスメント 計画作成者中心となりカンファレンスからケアプラン作成の流れを作り チームとして動く状況を作っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活記録の活用・書き込み方の指導やナンバリングの実行 又 個人申し送りノートの作成や活用等を活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族対応や職員対応に留まらず 事業所や会社系施設等の活用を常に用意し 他業種・機関等も必要に応じ 検索・利用出来る体制は用意している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣農作物の収穫参加・地域祭りや行事への参加・近隣ボランティアの受け入れ等行い 防災や離設に備え 役所・警察・消防等連絡窓口を持っている。又子供SOSの受け入れ等も行う。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>当施設指定の往診医にこだわらず 本人・御家族の希望医の往診受け入れを行っている。必要に応じて医療機関の案内等も行っている。</p>		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	各職員が自由に話せる状況を作り、連絡ノート等の作成・活用も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーの作成・ドクターとの直接会談等情報交換・相談の機会を作り 同時に入院先ドクターと通常かかりつけ医との連絡も取れる環境を作っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ケアプラン等を通して各職員が周知・把握出来る環境を作り 居室担当からのアセスメント等日常から御家族様との交流・意向伺い等の場を設け 必要に応じケアプラン等に反映させている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全対策委員会からの情報提供・指導等あり 地域担当消防署員による講習・指導等行っている。また マニュアル・書籍の閲覧も常に可能な環境を作っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	最低年2回の防災訓練の実施・運営推進会議等から近隣者への協力体制・ルートの作成・維持を図る。地域・近隣施設の防災訓練への参加も行っている。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に 身体拘束廃止委員会 を開催し、尊厳・本人の自由等 話し合い 常に各職員が意識し 日々の業務に反映出来るよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴する事の重要性・必要性を各職員に伝える機会を作り、日常での言葉掛けやそのタイミング等工夫し 御本人が意志表示出来得る環境作りに努めている。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員都合の廃止を心掛ける会議や「待つ」事の大切さ出来る出来ないの判断は職員ではなく 御本人様 だと周知する事の出来る場を設けている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	これまでの経緯や趣味等を尊重し 御家族様のご協力も仰ぎながらの支援を行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御本人様の現状や意欲等推察しながら職員だけで行わない 必ず声掛けする事は欠かさぬ様 日々実践している。	

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要に応じ 医師や御家族様共相談・協力仰ぎ 提供形態や量等 工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回歯科関係者によるケア を行い 同時に歯科衛生士等からの教育・指導も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間帯での排泄記録を取り、そこからのカンファレンスの開催等を行い 安易な排泄用具使用を避け 必要か否かを見極める機会を作っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	安全対策委員会等からの資料・情報を共有し 必要に応じた飲食物の提供 又 往診医との相談・診察の下 薬剤の使用等も必要時実行している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	各後利用者様の御希望を基に入浴日を設定。時間帯も声掛けしながら 御本人様の意思確認作業を行っている。 御本人様の希望で予定外の入浴も出来る限り受け入れる様努めている。		

みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々 時々状況の様子観察し 必要に応じ 声掛けや居室誘導等行い 夜間に関しては毎時巡視 必要に応じ冷暖房・照明等の管理も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各職員理解出来る様 薬剤関係書類は常時閲覧可能な状態。 又必要に応じ 担当薬剤師からの指導・情報提供も受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御家族様のご協力も仰ぎ 情報収集等行い 必要に応じ 外出対応や施設持込等で対応している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の日を週に1日設けており、散歩だけでなくお店等に出掛けられるよう支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族様相談し 確認・了承頂いた後 所持・使用の支援行っている。		



みんなの家・横浜茅ヶ崎東Ⅱ

51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様等の状況等も 考慮把握し 御本人様の負担・不安につながらぬ様 対応・支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルやソファの配置等考慮し 必要に応じ 季節に合わせた飾り等を用いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダ・EVホール・壁の死角等も利用し 椅子やソファを設置し 御利用者様が好きに使用出来る様 開放している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人様の身体状況等考慮し 御家族様相談の上 安全基準・消防法等照らし合わせ出来る限り馴染みの空間になる様 支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掃除用具等使える方が使える場所にある様工夫したり 使えない方が危険物に接しない様に管理している。		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 みんなの家 横浜茅ヶ崎東 2

作成日 平成 23 年 3 月 20 日

**【目標達成計画】**

優先 順位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	看取り介護に備え、充実した看取り体制への取り組みが必要	状態の変化に関わらず、安心して穏やかな生活を過ごして頂く。	・研修会等へ参加し、職員間で情報の共有・勉強し熟知していく。	1 2 ヶ月
2	13	近隣住民を含めた避難訓練の実施の実現化 (特に職員の少ない夜間を想定した訓練の実施が必要)	利用者様の生命の維持・尊	・夜間想定訓練を定期的実施 ・近隣や地域への協力要請を行う ・火災以外の災害時(地震・水害等)の対応の見直しを行う	1 2 ヶ月
3					
4					
5					